



## 2020年6月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 高見澤

上場取引所 東

コード番号 5283 URL <https://www.kk-takamisawa.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高見澤 秀茂

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 久保 輝明

TEL 026- 228- 0111

四半期報告書提出予定日 2019年11月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年6月期第1四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第1四半期	15,766	1.1	264	27.5	369	63.1	248	68.3
2019年6月期第1四半期	15,588	9.1	207	136.2	226	82.3	147	116.8

(注) 包括利益 2020年6月期第1四半期 219百万円 (55.3%) 2019年6月期第1四半期 141百万円 (82.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第1四半期	147.69	
2019年6月期第1四半期	87.74	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年6月期第1四半期	34,313	10,035	28.4	5,789.54
2019年6月期	34,021	9,860	28.1	5,680.40

(参考) 自己資本 2020年6月期第1四半期 9,732百万円 2019年6月期 9,548百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期		0.00		25.00	25.00
2020年6月期					
2020年6月期(予想)		0.00		25.00	25.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	63,000	2.1	900	10.0	1,000	2.9	700	12.1	416.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期1Q	1,758,400 株	2019年6月期	1,758,400 株
期末自己株式数	2020年6月期1Q	77,383 株	2019年6月期	77,383 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期1Q	1,681,017 株	2019年6月期1Q	1,681,037 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用所得環境の改善等を背景に、全体的には緩やかな回復基調で推移いたしました。一方、米中の通商問題、英国のEU離脱問題や近隣諸国における地政学リスクの高まり等により、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境の中にあつて、当社グループの当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高15,766百万円（前年同四半期比1.1%増）、営業利益264百万円（前年同四半期比27.5%増）、経常利益369百万円（前年同四半期比63.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円（前年同四半期比68.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

## ① 建設関連事業

民間大型工事への建設資材販売が好調であったことに加え、公共工事においても防災減災関連工事へのオリジナル製品納入が順調に推移し、増収増益となりました。

この結果、建設関連事業の売上高は2,938百万円（前年同四半期比24.5%増）、営業利益は89百万円（前年同四半期比36.8%増）となりました。

## ② 電設資材事業

大口設備投資案件の受注が順調に推移したことにより前年同四半期並みの売上を確保しましたが、仕入れコストの上昇、利益率の低下により減益となりました。

この結果、電設資材事業の売上高は7,296百万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は81百万円（前年同四半期比8.4%減）となりました。

## ③ カーライフ関連事業

石油部門では、原油価格の下落に伴う販売単価の値下がりにより減収となりましたが、採算確保とコスト削減に取り組む増益となりました。オート部門では、新車、中古車ともに販売が好調に推移し、車検・整備に係る経費見直しにより増収増益となりました。

この結果、カーライフ関連事業の売上高は3,482百万円（前年同四半期比5.5%減）、営業利益は13百万円（前年同四半期は営業損失67百万円）となりました。

## ④ 住宅・生活関連事業

主な事業として、農産物部門では、きのご培地の販売は順調に推移しましたが、天候不順による青果物の取扱量が減少し、減収減益となりました。不動産部門では、建売分譲物件の取扱いが減少し、減収減益となりました。

この結果、住宅・生活関連事業の売上高は2,048百万円（前年同四半期比9.7%減）、営業利益は106百万円（前年同四半期比32.1%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は18,869百万円となり、前連結会計年度末に比べ206百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が94百万円、商品及び製品が51百万円増加したことによるものであります。固定資産は15,443百万円となり、前連結会計年度末に比べ85百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が95百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、34,313百万円となり、前連結会計年度末に比べ292百万円増加いたしました。

## (負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は14,898百万円となり、前連結会計年度末に比べ335百万円減少いたしました。これは主に短期借入金が316百万円減少したことによるものであります。固定負債は9,380百万円となり、前連結会計年度末に比べ452百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が492百万円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は、24,278百万円となり、前連結会計年度末に比べ117百万円増加いたしました。

## (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は10,035百万円となり、前連結会計年度末に比べ174百万円増加いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益248百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は28.4%（前連結会計年度末は28.1%）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年8月9日の「2019年6月期 決算短信」で公表いたしました通期業績予想に変更はありません。

ただし2019年10月15日の「台風19号の影響に関するお知らせ」で公表したとおり千曲川堤防が決壊し事業所が被災いたしました。災害による影響は現在調査中であり連結業績に重大な影響を及ぼす被害等が確認された場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,776	3,808
受取手形及び売掛金	11,349	11,443
商品及び製品	2,298	2,350
仕掛品	274	319
原材料及び貯蔵品	309	318
その他	684	660
貸倒引当金	△30	△31
流動資産合計	18,662	18,869
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	9,192	9,197
減価償却累計額	△5,677	△5,723
建物及び構築物（純額）	3,514	3,474
機械装置及び運搬具	6,252	6,238
減価償却累計額	△4,464	△4,483
機械装置及び運搬具（純額）	1,787	1,755
土地	6,024	6,242
リース資産	266	258
減価償却累計額	△124	△122
リース資産（純額）	141	136
建設仮勘定	36	—
その他	1,850	1,855
減価償却累計額	△1,584	△1,598
その他（純額）	265	257
有形固定資産合計	11,770	11,865
無形固定資産		
のれん	221	200
その他	248	248
無形固定資産合計	469	449
投資その他の資産		
投資有価証券	779	784
繰延税金資産	859	800
その他	1,783	1,847
貸倒引当金	△305	△303
投資その他の資産合計	3,117	3,128
固定資産合計	15,358	15,443
資産合計	34,021	34,313

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,510	6,830
短期借入金	6,159	5,842
リース債務	45	44
未払法人税等	352	99
賞与引当金	397	301
環境対策引当金	11	—
その他	1,756	1,780
流動負債合計	15,233	14,898
固定負債		
社債	140	135
長期借入金	6,058	6,550
リース債務	123	120
繰延税金負債	33	31
再評価に係る繰延税金負債	381	381
退職給付に係る負債	1,696	1,664
役員退職慰労引当金	243	243
環境対策引当金	105	105
資産除去債務	50	50
その他	95	96
固定負債合計	8,927	9,380
負債合計	24,160	24,278
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,264	1,264
利益剰余金	8,016	8,223
自己株式	△94	△94
株主資本合計	9,186	9,392
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	173
土地再評価差額金	101	101
為替換算調整勘定	161	135
退職給付に係る調整累計額	△73	△70
その他の包括利益累計額合計	362	339
非支配株主持分	311	302
純資産合計	9,860	10,035
負債純資産合計	34,021	34,313

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年7月1日 至 2019年9月30日)
売上高	15,588	15,766
売上原価	13,289	13,375
売上総利益	2,298	2,390
販売費及び一般管理費	2,090	2,126
営業利益	207	264
営業外収益		
受取利息	3	1
受取配当金	1	11
持分法による投資利益	—	70
仕入割引	42	37
不動産賃貸料	9	8
その他	33	24
営業外収益合計	89	153
営業外費用		
支払利息	28	24
持分法による投資損失	16	—
為替差損	12	9
売上割引	9	8
その他	4	5
営業外費用合計	70	48
経常利益	226	369
特別利益		
固定資産売却益	12	1
投資有価証券売却益	0	—
投資有価証券評価損戻入益	5	0
特別利益合計	18	1
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	10	0
特別損失合計	10	0
税金等調整前四半期純利益	234	371
法人税、住民税及び事業税	113	66
法人税等調整額	△29	52
法人税等合計	84	118
四半期純利益	150	252
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	3
親会社株主に帰属する四半期純利益	147	248

（四半期連結包括利益計算書）  
（第1四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第1四半期連結累計期間 （自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）	当第1四半期連結累計期間 （自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）
四半期純利益	150	252
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	△9	△27
退職給付に係る調整額	3	2
持分法適用会社に対する持分相当額	△2	△8
その他の包括利益合計	△8	△32
四半期包括利益	141	219
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	141	225
非支配株主に係る四半期包括利益	0	△5



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第1四半期連結累計期間（自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,359	7,273	3,686	2,267	15,588	—	15,588
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22	8	70	13	114	△114	—
計	2,381	7,282	3,757	2,281	15,702	△114	15,588
セグメント利益又は損 失(△)	65	89	△67	156	243	△36	207

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△36百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間（自 2019年7月1日 至 2019年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	建設関連	電設資材	カーライフ 関連	住宅・生活 関連	計		
売上高							
外部顧客への売上高	2,938	7,296	3,482	2,048	15,766	—	15,766
セグメント間の内部 売上高又は振替高	11	17	67	16	112	△112	—
計	2,949	7,313	3,549	2,065	15,878	△112	15,766
セグメント利益	89	81	13	106	291	△26	264

(注) 1. セグメント利益の調整額△26百万円は、主に各報告セグメントに配分していない全社費用であり、報告セグメントに帰属しない本社の一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

2019年10月に発生した台風19号により千曲川堤防が決壊し、長野県内の事業所が被災いたしました。幸いにも従業員等の人的被害はありませんでした。

財政状態及び経営成績に与える影響額については現在算定中であります。